

コラム③ 子どもへの経験機会の提供（歴史・文化など）

本計画では、子どもの貧困の一つに、経験の機会の不足を挙げています。経験の機会の不足は、経済的困窮に起因するものだけでなく、都内・区内には様々な歴史・文化の体験機会を提供する博物館などの社会資源は豊富にあります。そこへアクセスできない様々な状況も問題となります。新型コロナウイルス感染症の影響で様々な体験の機会が不足することによる、子どもへの悪影響が懸念されます。生まれ育った環境に左右されることなく様々な体験にふれる機会があることが大切です。

区には、郷土博物館、勝海舟記念館、大森 海苔のふるさと館など、気軽に郷土の歴史・文化にふれることができる社会資源があります。勝海舟記念館では、広い視野と見識で激動の江戸時代後期～明治時代を生き抜いた勝海舟に係る古文書や遺品などから、その事蹟や人柄にふれることができます。郷土博物館では発掘調査で見つかった旧石器時代から中世までの土器、石器、金属器などを見ることができます。また馬込文士村に住んでいた作家や画家の作品、海外でも人気の版画絵師川瀬巴水の作品を見ることができます。勝海舟記念館は洗足池公園、大森 海苔のふるさと館は大森ふるさとの浜辺公園内にあり、自然環境とふれあいながら郷土の歴史にふれることができます。

また、子どもの成長に欠かせない大切な経験の一つに読書体験があります。子どもの読書には、思考力、表現力の育成、感受性、想像力の育成、豊かな人間性の形成などの多様な効果が期待されています。本を通じて世界とつながる読書体験を子どもたちに提供することは不可欠と言えます。

小5子どもアンケートでは、自分だけの本を持っていると回答した割合が減少しました（26 ページ参照）。大田区立図書館では、全 16 館で乳幼児からティーンズまで年齢に合わせた子どものための本を豊富に所蔵・貸出するとともに、絵本の読み聞かせなどを行うおはなし会、おすすめの本を紹介する展示などを行っています。（おすすめの本は図書館ホームページでも紹介しています。）



大森 海苔のふるさと館
海苔つけ体験



郷土博物館 体験学習会
六郷のとんび凧づくり



大田区立勝海舟記念館
子どもも楽しめるガイド
「勝海舟ってどんな人？」



池上図書館（左：正面入口 右：児童コーナー）